

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」天童中央校		
○保護者評価実施期間	2025年10月1日 ～ 2025年11月30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2025年11月1日 ～ 2025年11月30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月7日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様、保護者様一人ひとりに寄り添ったオーダーメイド療育の提供	利用者様や保護者様のご要望をもとに、活動内容を一から考え、オーダーメイド療育の提供をしています。5領域に基づいた細かな支援を行っています。	今後も活動が単調になりすぎないように心がけていきます。保護者様へのフィードバックや関係機関との連携を通して、細かな活動内容の調整を行っています。
2	保護者様が相談しやすい環境づくり	活動後にフィードバックの時間を必ず設けています。最近の園やご家庭での様子についてお聞きしたり、お話ししたりすることを大切にしています。話しやすい雰囲気づくりを心がけています。	継続して、保護者様に寄り添いお話を時間を大切にしています。家族支援だけでなく、関係機関との情報連携も大切にしています。
3	個別療育と集団療育を組み合わせたハイブリッド療育の提供	本校で行っている小集団活動は、前半は個別療育、後半は小集団療育にしています。個別では、個に合わせた活動内容、小集団では、他者との関わりを意識できるような活動内容を取り入れています。複数の指導員が関わり、しっかりと体制を整えています。	今後も継続してハイブリッド療育療育を行っています。不定期で親子イベントも開催していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎を行っていないこと	当事業所では送迎をおこなっていません。その為保護者様に送迎のご協力をお願いしています。	出来る限り送迎のご都合に合わせてるように、調整させていただきますが、難しい場合もありますのでご了承いただけたらと思います。
2	時間帯によって児童発達支援と放課後等デイサービスのご利用者が重なることでにぎやかになってしまうこと	児童発達支援のお子さんが多い時間帯や児童発達支援と放課後等デイサービスご利用のお子さんが重複する時間帯において、支援内容によって、空間を上手く仕切れていないことがあります。	相談室やパーティションなどを活用すること、1回のご利用時間で人数が多くなりすぎないように配慮することで、皆さまが集中して活動に取り組めるようにしていきます。
3	時間帯によって駐車場が混雑してしまうこと	特に夕方の時間帯は駐車場が混雑し、すぐに駐車できない場合があります。	可能な範囲の中で、ご利用人数の調整を行いますが、難しい場合もあります。ご利用時間に合わせた送迎時間にご協力をお願いしています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」天童中央校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 24

回収数 24

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環 境 ・ 体 制 整 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	3	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	23	0	0	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	4	0	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	1	0	0		
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	2	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	23	1	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	0	0	2		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	0	0	1		
	10	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	2	0	1	課題が直ちに良くなるわけではないので、プログラムの変更がよくあるわけではなく、判断が難しい。	ご意見ありがとうございます。それぞれのお子さんに合わせて様々な活動プログラムを展開しています。お子さんの様子や理解度などから、同じことを繰り返し行ったり、活動プログラムを急激に変更したりしないようにしている場合もあります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	15	1	5	3		
保 護 者 へ の	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	0	1	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング（※5）等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	3	2	4	ペアトレ等の研修の機会をもっと作ってほしい提供はあるが、オンラインが多い。	ご意見ありがとうございます。フィードバック中にお子さんとの関わり方等についてお話をさせていただいたり、情報提供をしたりしていましたが、事業所内でも研修等の機会が設けられるよう、検討していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	24	0	0	0	フィードバックがしっかりしているので日頃の様子で少し聞きたい確認したい事を伝えやすいので今後ともお願いしたいです。毎回、体調や保育園での出来事を親身になって聞いて下さり、その上で共感と的確なアドバイスをして下さいます。本当にありがたいです。	ありがとうございます。今後も寄り添った支援を大切にしていきます。何か小さなことでも遠慮せずにお話していただければと思います。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	2	2	0	家庭の状況など（兄弟がいたり妊娠していたり）細やかな配慮があり感謝しかないです。悩みを聞いて下さり、「大変でしたね。」の一言がこんなに心を軽くしてくれるんだって思いました。	ありがとうございます。ご利用者(お子さん)だけではなく、ご家族様への支援も私たちは大切にしています。

説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	2	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	4	4	9		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	0	0	4	機会がないので、わからない。	ご利用時以外でもご相談したいことがありましたら、お申し出ください。利用時間の変更や追加利用などについても、空き状況によりますが、可能な限り対応させていただきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	0	0	0	子供の話をしっかり聞いてくれて、本当にありがたいです。	ありがとうございます。今後も良い関わりができるように努めていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16	1	1	6		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	0	0	3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	2	0	6		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	0	1	9		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	1	0	5		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	1	0	6	機会がないので、わからない。	事故や怪我が起きないように安全面に配慮しています。頭をぶつけてしまったなどの怪我があった際には、保護者様に状況や怪我の様子についてご説明させていただきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	24	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	21	3	0	0	楽しみにしすぎて行けなくなった場合（発熱や兄弟の看病などで）とても残念にしています。クラゼミ行きたい！今日はクラゼミの日だよと楽しみにしています。	ありがとうございます。今後も楽しくご利用いただけるようにサービスの向上に努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	0	1	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもサポート教室「クラ・ゼミ」天童中央校		2026 年 2 月 14 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		おもちゃや教材は使いやすいように日頃から整理整頓している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		パーティションを使用したり、机の配置を工夫したりすることで、集中できる空間にしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		相談室を使用できるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		定期的にミーティングを行い、目標の確認や振り返りは全体で行っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		意見を把握する機会を設けている。改善が必要なことはできる限り早急に改善できるように努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ミーティング時やそれ以外の時間でも、日頃から意見交換している。不定期で1on1ミーティングを実施している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	外部評価は行っていないが内部監査を定期的に行っている	内部監査を定期的に行うことで、必要な点については業務改善していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月、内部で多くの研修が実施されている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		主で関わっている職員だけでなくできる限り全体で情報共有して、共通理解に努めている	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		チームで行っているものと各自で行っているものがある。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		利用者それぞれに合わせて、固定しているプログラムとそうではないプログラムを考えている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。		○	個別療育が中心のため、集団活動は行えていないが、一部の活動を複数名で行うことはある。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		営業終了＝支援終了のため、支援終了後に打ち合わせを行えないことが多い。	翌日の朝に行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理者児発管が参画することが多い。	可能な範囲で指導員も参画している。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		日頃から各関係機関との情報連携を大切にしている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	現状そういった機会を設けることができていない。	今後検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		プログラムとしては行えていないが、保護者様とお話する時間を大切にしている。また、講演会などの情報提供を行っている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	保護者会等の開催は行うことはできていないが、できる範囲でのご兄弟へのサポートを行っている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談したいことがあると伺った際にはできる限り早急に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		Instagramやブログを活用した情報発信を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報については保管を徹底している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	行事への招待等は行えていないが、病院や遊び場などにチラシを置かせていただき、地域の方々に知ってもらえるようにしている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを作成し、訓練を行っているほか、契約時の書類でも保護者様へ説明している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、研修や訓練を行っているほか、報告書等の作成も行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に保護者様へ説明している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			